

## 地域意見交換会の主な意見（東小校区）

No.	分類	内容	回答
1	ごみの減量	市民の意識改革が無ければ、15%のごみの減量に繋がらないのではないかと。ごみ袋の値上げによって分別しようという気持ちになるのか。学生や若い人が多い長久手市では、忙しい時間との闘いの中で減らそうという気持ちになるのかと思う。	現在も分別ができていない場所には指導等行っていますが、改善されていないのが現状です。先行してもえるごみ袋を値上げた知多地域の自治体を訪問し聞き取りをしましたが、ごみの量が減り、プラスチック製容器包装の資源が増えているため、市民の分別行動・意識の変化が起きていることがわかりました。長久手市民にもそのような意識をもっていただきたいと考えてます。市民の意識改革の手法として、ごみ袋の値上げ以外にも他の施策と併せて実施したいと考えています。
2	ごみの減量	ディスポーザー型の生ごみ処理機は、生ごみの減量に相当な効果があると思うが、補助の対象にならないか。	ディスポーザー型の生ごみ処理機ですが、ごみを粉碎し下水道に流すものが多いため、下水管内の負担にならないもののみが対象になります。公益財団法人日本下水道協会の定める認証を平成25年以降に受けている製品で、かつ長久手市下水道課のディスポーザー排水処理システム設置計画承認申請の承認を受けているものが補助の対象になります。（対象製品は日本下水道協会のホームページから確認できます。）
3	価格の設定	決まっていないと思うが、仮に値上げした後に、減量が成功した場合は、値下げや元の値段に戻すことをする可能性はあるのか。幸田町は目標達成後、値下げしている。	現時点で、目標達成後の値下げは考えていませんが、長久手市の情勢により価格が変動する可能性はあります。
4	段階的な引き上げ	もえるごみ袋の料金について、いきなり上げるのではなく段階的に上げられないのか。	段階的に料金を引き上げる方法もありますが、段階的に上げるために当初の料金を低く設定すると、ごみの抑制効果が薄れる可能性もあり、ごみの減量効果を見込める水準まで料金を引き上げる必要があることから、段階的な引き上げは考えていません。
5	減量困難なもの	減量が難しい刈草・剪定枝の扱いはどうなるのか。	ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには意見交換会を踏まえ、剪定枝の扱いの方向性を決定する予定です。
6	ごみ袋の仕様	分別マナーが悪いのであれば、もえるごみ袋を不燃物のように透明にして、中身が見えるようにした方がいいのではないかと。	ごみ袋の種類は大きく分けて2種類あり、伸びやすいタイプのもの（低密度ポリエチレン）と伸びにくいタイプのもの（高密度ポリエチレン）があります。現在の材質の伸びにくいタイプのもの（高密度ポリエチレン）は不透明で中身が見えにくく、伸びやすいタイプのもの（低密度ポリエチレン）は透明に近いので、中身が透けやすいのが特徴です。今後、市民のご意見も聞きながら、見直しについては検討していきたいと考えています。今後、市民のご意見も聞きながら、見直しについては検討していきたいと考えています。
7	旧ごみ袋	増額後に、現在の指定ごみ袋（白色）が残ってしまったらどうすればいいのか。	増額後に残ってしまった現在の指定ごみ袋については、一定の交換期間を設け、新しい袋への交換を行います。交換対象は、未使用品に限ります。新旧で販売金額が異なりますので、例えば旧ごみ袋10枚に対して新ごみ袋3枚の交換を検討しています。交換期間等詳細については、改めて市広報等でお知らせします。
8	ごみの収集	長久手市のごみの戸別収集は効率が悪い。集積所を設けたらどうか。	ごみ収集の仕組みは、戸別回収と拠点回収のどちらかになりますが、集積所での収集は、収集する側は収集時間の効率性のメリットがありますが、地域によっては、集積所を設置する場所が課題となります。また、戸別収集も高齢の方にとっては、ごみが出しやすい方法のためメリットもあります。今後は従来どおりの戸別収集を取り入れつつ、新たに拠点回収に協力していただける市民を募り、拠点回収も併せて取り入れていきたいと考えています。

地域意見交換会の主な意見（東小校区）

No.	分類	内容	回答
9	資源化	プラスチック製容器包装に付着しているシール・汚れ・においなど、取り切れない部分はどうしたら良いか。	プラスチック製容器包装に付着しているシール、汚れやにおいなどの取り切れないものについては、少々残っていてもリサイクルに支障はありません。汚れやにおいは水で軽くすすいでいただき、そのままプラスチック製容器包装として出してください。
10	資源化	プラスチック製容器包装に何でシールがついているとだめなのか、何が困るのかという部分を書いてもらえると、捉える方も捉えやすい。	ご意見として参考にさせていただきます。
11	資源化	プラスチック製容器包装は、どのように処理されているか教えてほしい。	回収されたプラスチック製容器包装は、中間処理及び保管業務を委託している市内の事業所に運び込まれ、異物除去や圧縮梱包を行い、再商品化事業者へ引き渡し、国内において再生利用されています。現在は、フォークリフトなどで物を運ぶ時の荷台（パレット）や、車両等の段差解消ブロックに再商品化されています。
12	資源化	プラスチック製容器包装がもえるごみの中に混入されているからこそ、ごみを燃やす際に助燃材となって活用されている点も注目した方がよいのではないか。	自治体によっては、プラスチック資源を助燃材として熱利用する処理場もありますが、晴丘センターでは実施していません。近年、プラスチックを取り巻く環境は国内外で変化し、日本でも、プラスチック資源をリサイクルする法律が令和4年4月施行予定となっています。
13	資源化	プラスチック製容器包装の値段を下げたい。	手数料については、市場価格と相応しており減額する予定はありません。
14	資源化	プラスチック製容器包装のSサイズが欲しい。	プラスチック製容器包装のSサイズは、市民の皆さんの要望が多いため、検討していきます。
15	資源化	今現在もえるごみとして出されているプラスチック製品の回収を行うことはできないか。	令和4年4月から市町村の努力義務でプラスチック資源の一括回収を促す趣旨の法律が施行されます。現在、環境省が運用についてガイドラインを作成し、令和4年3月までに公表される予定となっています。本市においても、実施可能なリサイクルルートが整備され次第、実施していきたいと考えています。
16	広報の方法	組成調査の結果を今回初めて知った。毎年配布されるガイドブックに明記されていると言われるが、市民は見ない。もっと常に見られる箇所にあるといいのではないか。	ご提案ありがとうございます。ガイドブックに比べ、ごみ・収集カレンダーの方が各家庭の目に届く場所に貼られることから、組成調査の結果をごみ・収集カレンダーに掲載することを考えていきます。
17	広報の方法	小中学校の出前講座では何を教えているのか。	これまでも依頼がありましたら、学校を訪問し、ごみ・資源に関する講座を実施してきました。今年度は小中学校の児童生徒を対象に給食の時間を使ってごみ減量出前講座をライブ形式で各校3回シリーズ（①分別②リチウムイオン電池の出し方③食品ロス）で実施しています。子供にごみ減量の大切さを伝えるだけでなく、子供からお家の人に伝えてもらうことでさらなる波及効果を期待しています。
18	近隣市町	ごみ袋の値下げを行った市町は知多地域が多いが、近隣市町の状況を教えて欲しい。	瀬戸市・尾張旭市・本市の3市の共同でごみ処理を行っていますが、瀬戸市と本市がごみ袋の値上げを検討しています。尾張旭市は平成30年度にごみの有料化について検討を行っていますが、当時1人1日あたりのごみの量が減少傾向にあり目標値を達成していること、他の施策でごみ減量に取り組んでいくことから現時点では有料化を実施しないという方針を発表しています。また、近隣市町の日進市・東郷町についても現状値上げの予定はありません。
19	近隣市町	コロナ禍で家庭で過ごす時間が増えているため、ごみ袋の値上げをすると、ごみの量が減るとは限らない。近隣の日進市・東郷町のごみの排出量を教えて欲しい。	日進市と東郷町に過去5年間の1人1日あたりのもえるごみの量を確認したところ、日進市は、平成30年度まで減少傾向にありましたが、令和元年度以降増加しています。東郷町は、過去5年間、毎年微増しています。

## 地域意見交換会の主な意見（東小校区）

No.	分類	内容	回答
20	その他	32回開催する意見交換会をもって、議会上程するのか。	10月から12月までの地域意見交換会が一旦終了します。1月22日（土）に文化の家にて、地域意見交換会（全32回）でいただきましたご意見を中心に市民の皆様と話しながら、議案上程について考えていきたいと思っています。